

地方会議（奈良県奈良市）

1. 日時、場所

平成24年5月20日（日） 13：30～15：30
奈良新公会堂 レセプションホール

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 115名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	49
資金調達	0
経営指導・経営支援	22
技術力・人材（技能承継等）	5
取引関係（下請取引・流通構造等）	2
販路開拓（海外展開等）	1
若手・青年層の活力発揮	9
女性層の活力発揮	2
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	6
その他	2

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・ 「中小企業」の定義について、今の時代に即した新たな定義作りが必要。
- ・ 多くの中小企業支援策があるが、末端までの周知には時間がかかる。浸透することに時間がかかるのに反し、いざ申請したいという時には制度が廃止されていることも多い。改善を望む。
- ・ 補助金・助成金を申請したくても、手続きが複雑で商売をしながらでは大変である。できるだけ簡素化して欲しい。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 今の人材は専門性は高いが、社会対応能力が低い。教育現場の改善が必要。

【取引関係（下請取引・流通構造等）】

- ・ 円高の影響で取引先から強い値引き要請があり、利益を研究開発資金に回すことが出来なくなっている。原油・原材料の価格も高騰しているが、中小企業は価格転嫁できない。価格安定のための施策を望む。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 若い後継者・創業者が求めているのは一緒に走ってくれる人。先輩の生の声を聞けるような知識サポート体制の確立を望む。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 大企業と小さな企業が平等に商売できるような法改正を望む。
- ・ 地域活性化のために、大店法の復活を望む。

【その他】

- ・ 消費税増税が中小企業に与える影響は大きく、8割の企業は価格転嫁出来ないとの統計もある。よく議論して欲しい。